

株式会社 MORESCO

地球にやさしいオンリーワンを世界に届けるMORESCOグループ

第1四半期業績の概要

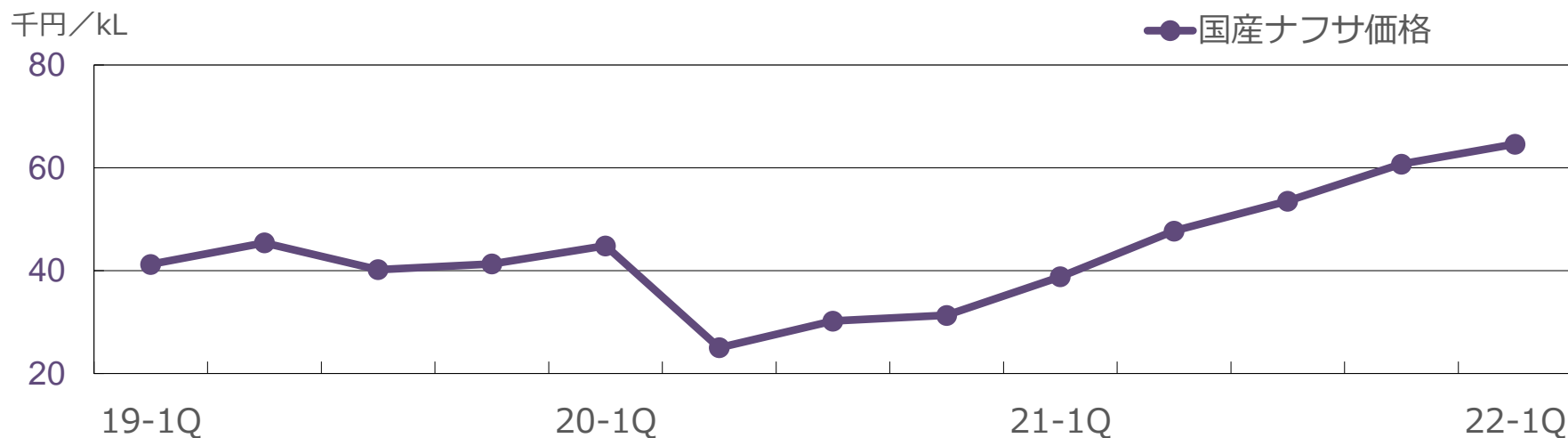
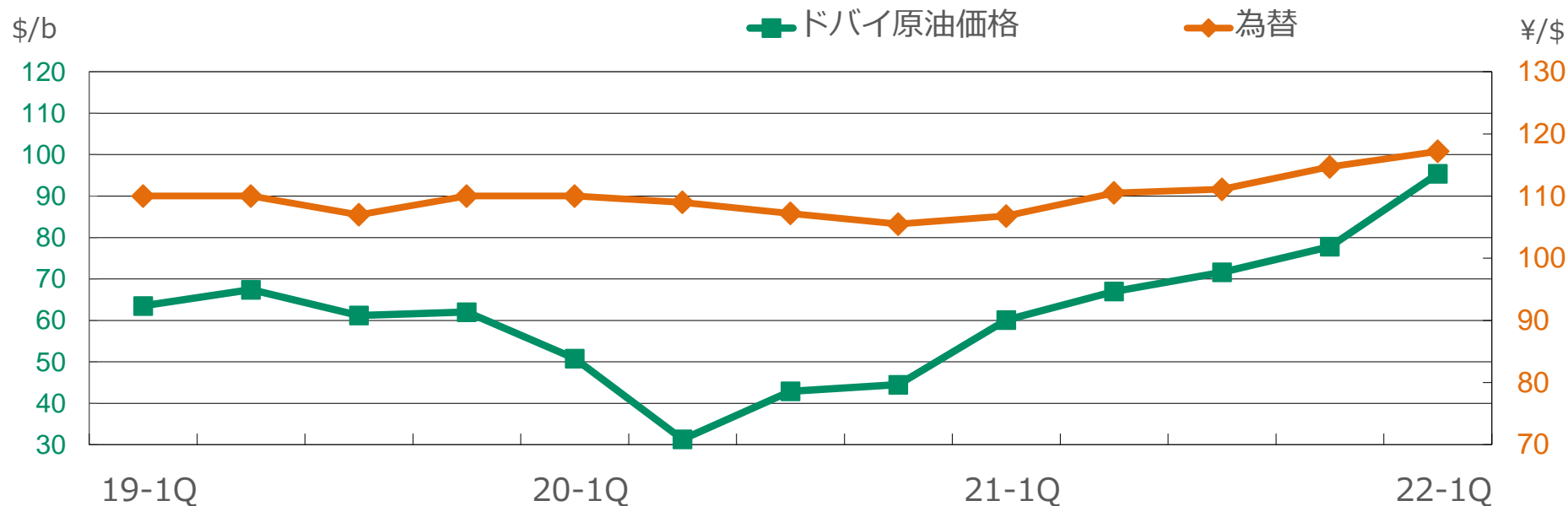
(2022年3月1日～2022年5月31日)

東証プライム 5018 (石油・石炭製品)

2022/7

当期の経営環境（１）

MORESCO



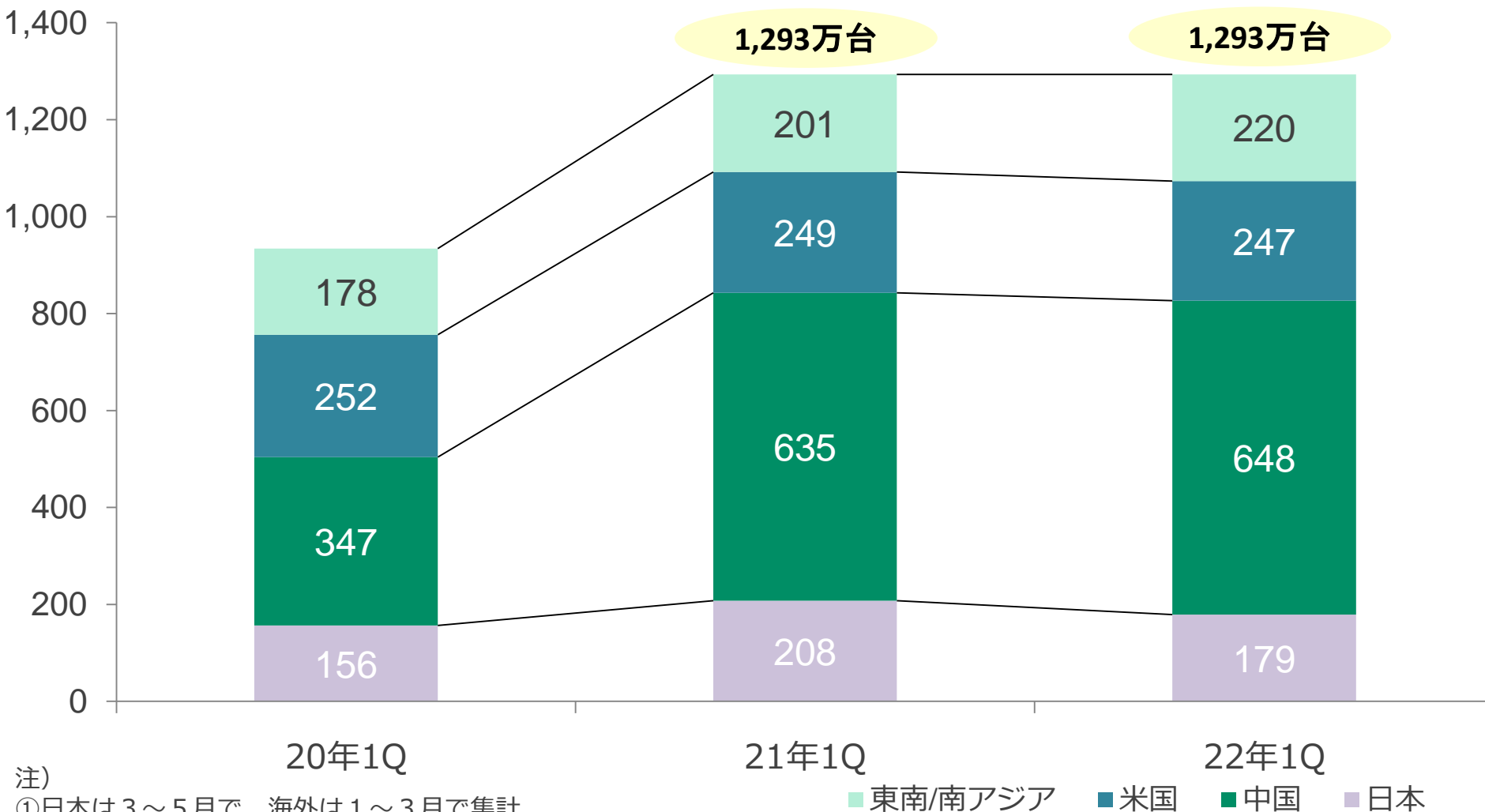
当期の経営環境（２）

MORESCO

当社拠点所在地における自動車生産台数

出典：マークラインズ社

単位：万台



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

- 製品販売価格是正により増収となったものの、原材料価格の更なる上昇により利益率は低下

単位：百万円

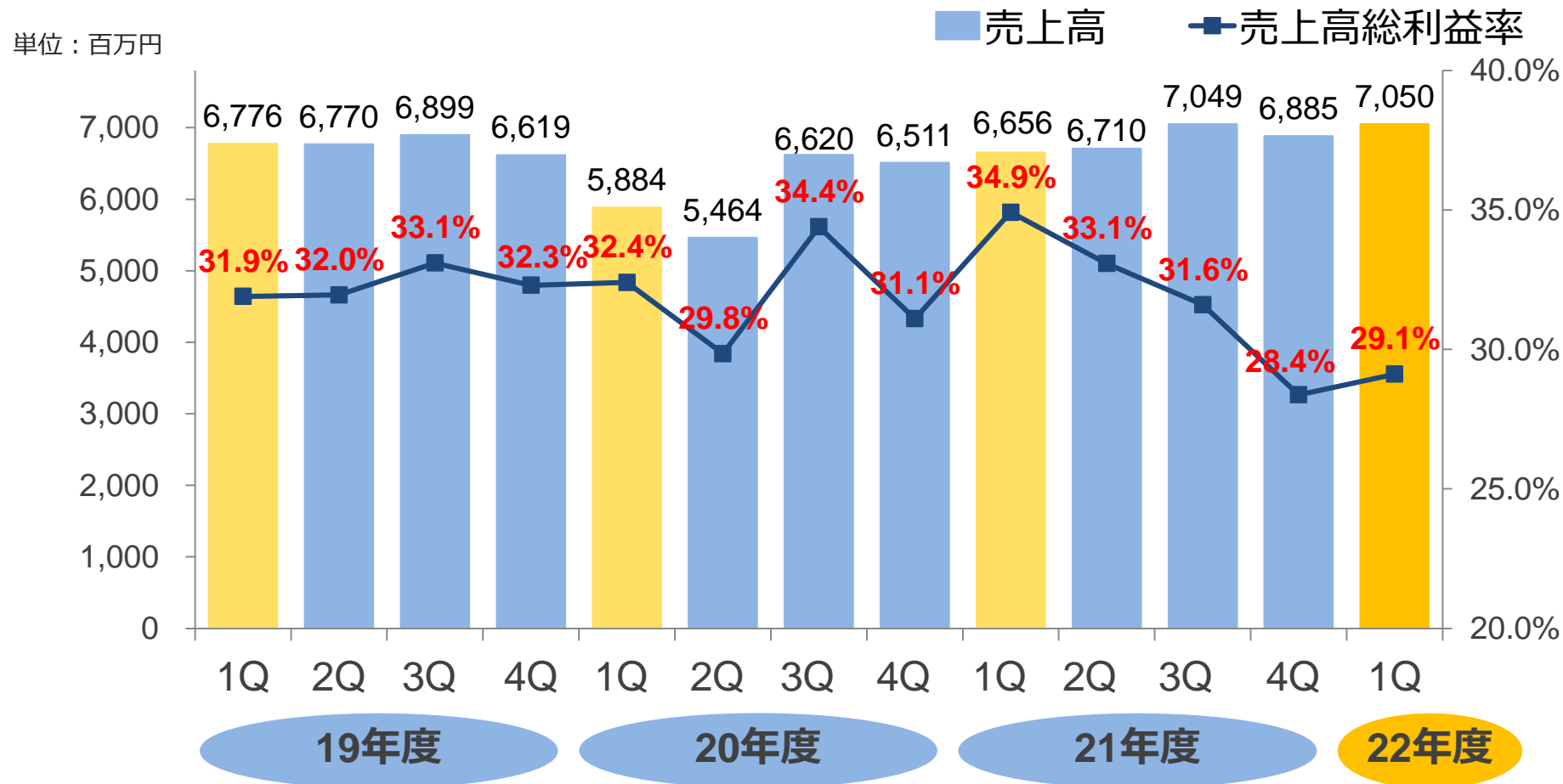
科目	21 / 1Q	22 / 1Q	前年同期比
売上高	6,656	7,050	+5.9%
売上総利益	2,324	2,053	△11.7%
販管費	1,805	1,852	+2.6%
営業利益	520	201	△61.4%
営業外損益	202	271	+34.2%
経常利益	721	471	△34.7%
特別損益	833	—	—
税引前利益	1,555	471	△69.7%
当期純利益 (※)	1,095	317	△71.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

売上高、売上総利益率の推移

MORESCO

➤ 前2Q以降の粗利率の低下に歯止めがなかった状況



部門別売上高の内訳

MORESCO

単位：百万円

科目	21 / 1Q	22 / 1Q	前期比
特殊潤滑油部門	3,083	3,420	+10.9%
合成潤滑油部門	503	502	△0.1%
素材部門	807	902	+11.9%
ホットメルト接着剤部門	1,671	1,809	+8.2%
その他	584	417	△28.7%
化学品事業計	6,648	7,050	+6.0%
ビル事業	8	—	—
売上高合計	6,656	7,050	+5.9%

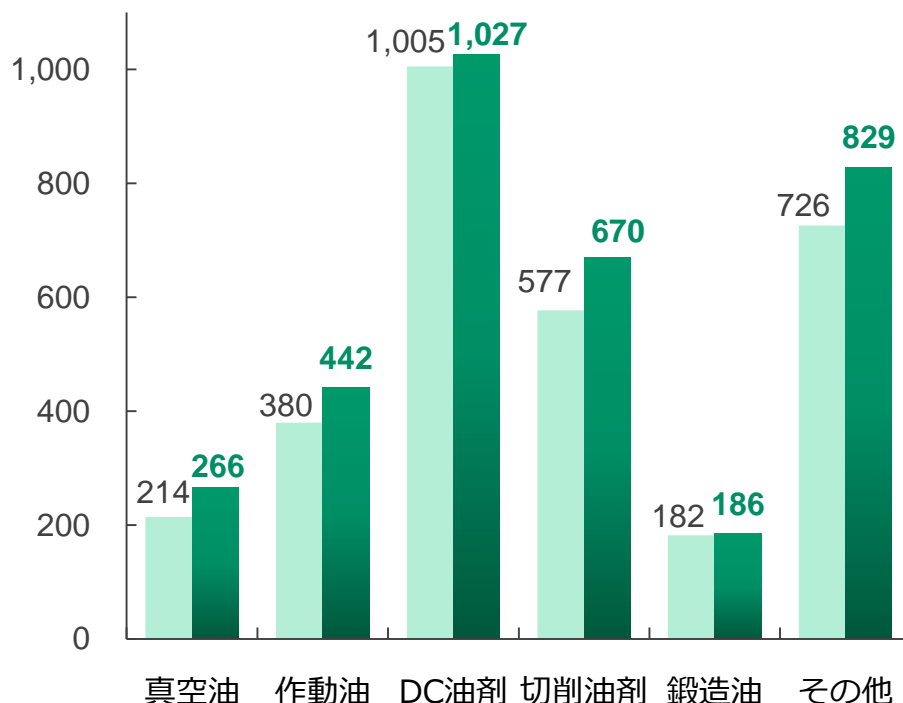
当期の実績（特殊潤滑油部門）

MORESCO

- 部門全体の売上は前年比10.9%増（3,420百万円）
数量は2.3%増

単位：百万円

■ 21年1Q ■ 22年1Q



➤数量では、ダイカスト用油剤の出荷減を高真空ポンプ油の需要回復や切削油剤の新規拡販がカバー

➤販売価格是正により、単価は上昇

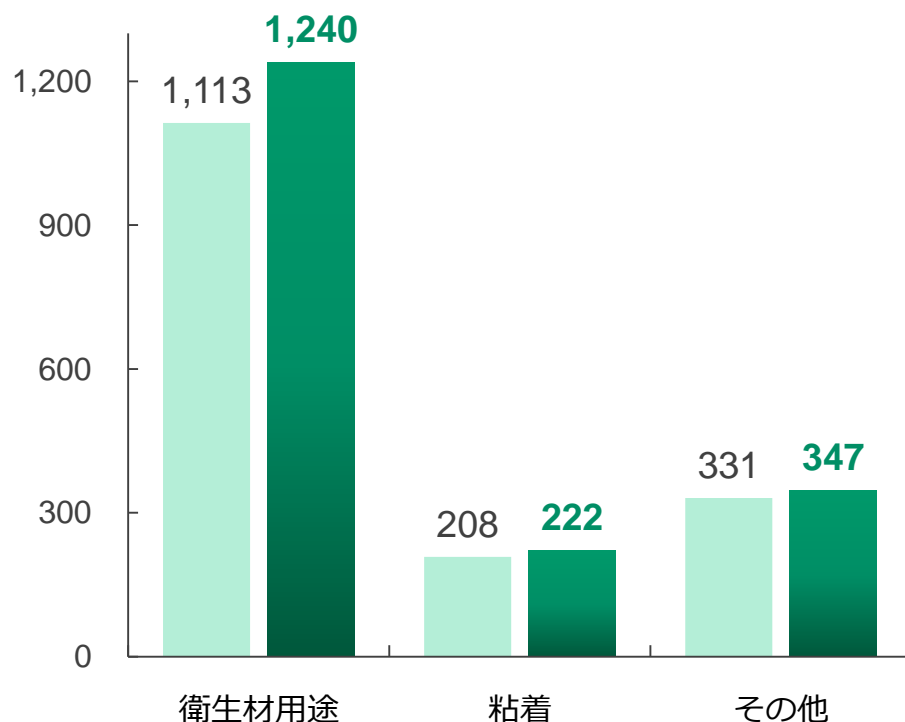
当期の実績（ホットメルト接着剤部門）

MORESCO

- 部門全体の売上は前年比8.2%増（1,809百万円）
数量は5.9%増

単位：百万円

■ 21年1Q ■ 22年1Q



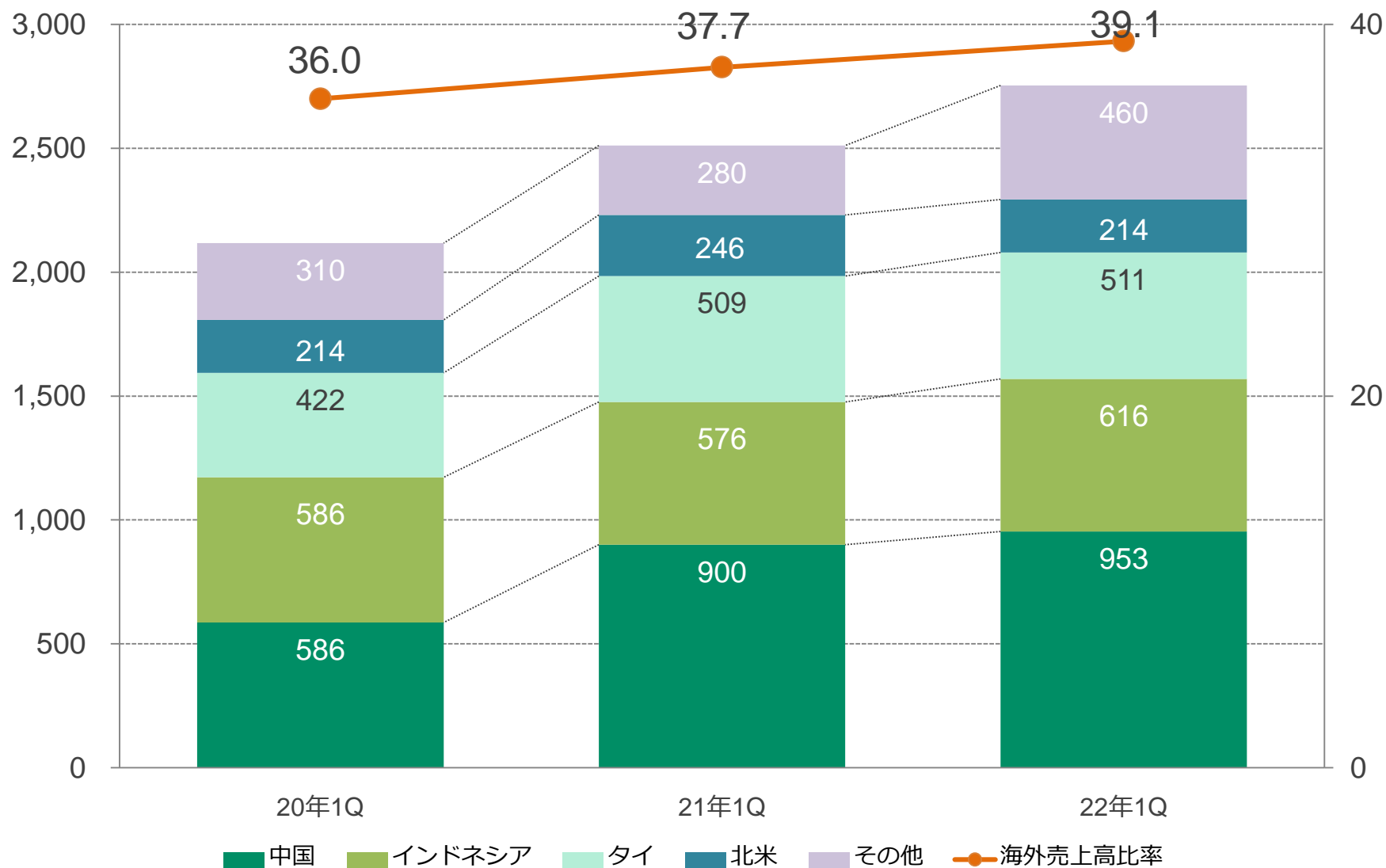
- 衛生材料は、日本における需要回復、インドでの出荷増により増収

海外売上高（連結）

MORESCO

単位：百万円

単位：%



2022年度 連結業績予想

MORESCO

単位：百万円

科目	2022年1Q	2022年度 通期予想	進捗率
売上高	7,050	30,500	23.1%
営業利益	201	1,850	10.9%
経常利益	471	2,200	21.4%
当期純利益	317	1,300	24.4%

持続可能社会の実現

MORESCO

11

7つのマテリアリティ（重要課題）



➤ 5つの事業活動関連と2つの社内基盤関連で構成され、2030年に向かって着実に前進

	マテリアリティ	関連するSDGs	目指す取り組み
事業活動に関する 重要課題	環境負荷低減の実現	   	<ul style="list-style-type: none"> ・より長寿命で、廃棄物や環境負荷が少ない製品の開発 ・潤滑油や容器等のリサイクル推進 ・生産プロセスにおけるCO2排出量、廃棄物、排水量の抑制 ・環境に配慮した製品供給 ・再生可能エネルギーの推進、エネルギーの省力化
	革新的な製品、サービスの開発	 	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境分野」「情報関連分野」「エネルギーデバイス分野」を中心とした既存分野での技術革新に貢献 ・新たな分野の開拓
	技術革新による新たな価値創造と生産性の向上	  	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなビジネスモデルの構築 ・デジタル技術を活用し、生産効率の最適化と環境負荷の最小化を実現 ・事故やトラブルの防止や労働負担軽減による安心・安全・快適な労働環境の実現
	サプライチェーン強靱化による持続的な安定供給	  	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の安定調達 ・人権や原料由来を考慮した調達 ・供給体制の強化 ・BCP体制整備の加速
	パートナーシップの強化		<ul style="list-style-type: none"> ・研究機関等との共同研究により、イノベーションを創出 ・材料メーカーや販売代理店等とパートナーシップを結び、共通課題を達成 ・地域社会との価値共創とCSR活動の強化
社内基盤に関する 重要課題	多様な人材の育成と登用による人的資本の強化	  	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルやデジタル分野などで活躍できる人材の育成 ・女性人材の登用 ・人的資本の強化・成長を促す評価制度や研修制度
	心身ともに充実でき、人権を重視した働き方の実現	  	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの向上 ・社員の健康促進 ・DE&I（多様性・公平性・包摂性）重視の企業文化 ・人権を重視した職場環境の整備 ・ハラスメントのない職場 ・業務プロセスの見直し

脱炭素の取り組み

MORESCO

- **2030年**まで自社消費エネルギーによるGHG排出の**46%**削減（2013年対比）
- サプライチェーンを含め、**2050年**までに**カーボンニュートラル**を実現

購買

購入する原材料の
生産に伴うGHG排出量



自社

生産

ガス・重油・電気等使用等に伴う
GHG排出量



全社

従業員の通勤、出張、廃棄物処理、
全拠点での電気使用等に伴うGHG排出量



販売

顧客までの輸送に伴う
GHG排出量



製品使用後の廃棄に伴う
GHG排出量

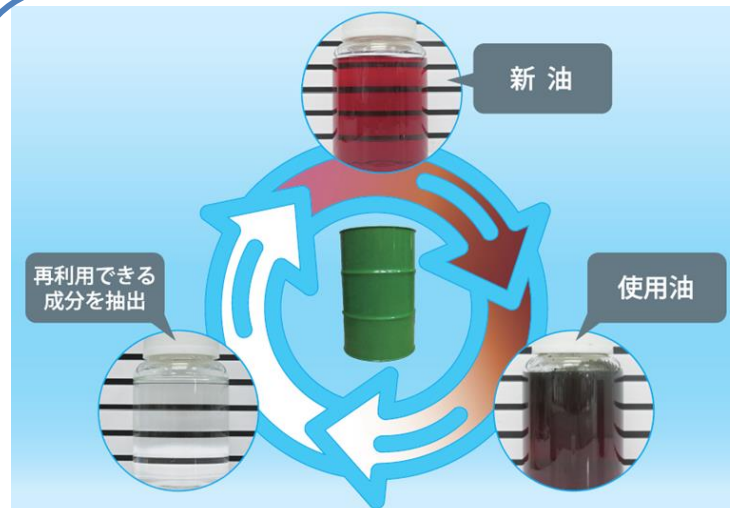


サーキュラーエコノミーへの取り組み

MORESCO

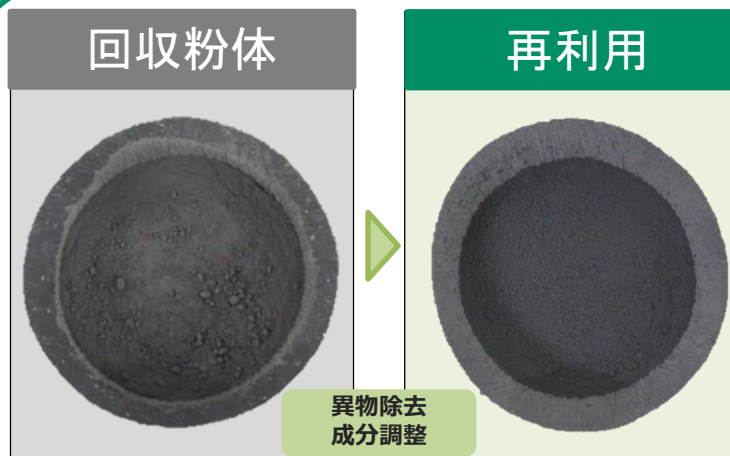
従来の取り組み

- 古くなった水-グリコール系作動液から、劣化した添加剤（全体の20%）を除き、残りを原材料に再投入



新たな取り組み

- 使用後の粉体離型剤を再利用
- 潤滑油におけるリサイクル原料の使用拡大



ガス・水蒸気透過度測定装置

MORESCO-SuperDetect マルチチャンバータイプ



- 複数のサンプル測定によるオペレーターの負荷低減
- バリアフィルムの性能測定により、食品・医薬品の品質向上に寄与
- 燃料電池向けに水素透過に特化した測定装置を新たに開発し、水素社会への貢献につなげる

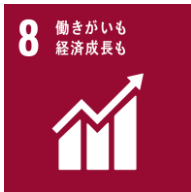


新装置：4チャンバータイプ

性能	新装置	既存装置
試料室数 (チャンバー数)	◎ (4チャンバー)	○ (1チャンバー)
測定感度	○ ($\sim 3 \times 10^{-5}$)	◎ ($\sim 1 \times 10^{-6}$)
測定効率 (10^{-3} オーダー)	◎ (4サンプル/4日間)	○ (2サンプル/4日間)
結果解析	◎ (簡単)	○ (高度)
用途	生産工程 品質管理工程	研究開発
活用分野	電子部品・電子機器 食品・医薬品包装	有機デバイス

健康経営優良法人(大規模法人部門)

2年連続認定

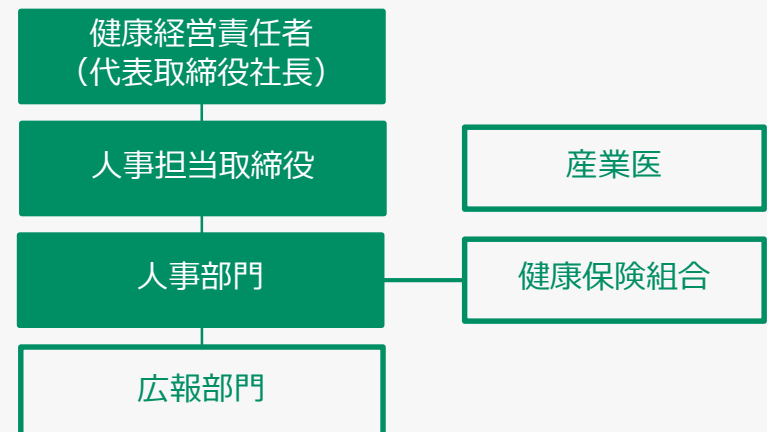


※特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度（経済産業省）

健康経営宣言

MORESCOは、従業員が心身ともに健康であることが、企業の持続的な発展に不可欠と考え、
「一人一人が豊かな環境で育ち、新たな価値を育てていく会社」を実現するため、従業員の健康づくりを推進していきます。

体制





この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点における当社の判断に基づくものであり、今後、予告なしに変更することがあります。本資料記載の業績見通しや目標数値のみに全面的に依存して、投資判断を下すことによるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。
なお、当資料を無断で複写複製、配布することを禁じます。